



安曇野日和

タイトル：「もみじ」

撮影者：堀崎 明浩

グラウンド横の小さなほころにある、京都の有名なお寺からいただいた紅葉を撮りました。

連載コラム 院長室だより 病院長 桑村 智

先日、菊の日の院長挨拶でもお話ししたのですが、2015年は異常気象に見舞われた年でした。大雪、異常寒波、ゲリラ豪雨、猛暑日記録更新、台風による災害、そして暖冬とよくもまあ勢ぞろいしたものだと思えてしまいます。これには「エルニーニョ現象」と「マッデン・ジュリアン振動」が重複するという、気象学でも稀な現象によるそうです。異常気象は当然自律神経に負担をかけるので心身の不調をきたしやすくなります。この影響で調子を崩す患者さんが続出し、その対応に追われた一年でもありました。

そして一方では医療事故調査制度、マイナンバー制度、メンタルチェックと相次いで新しい取り組みが始まりました。新年度は診療報酬改定の年となり、診療報酬で微増、全体でマイナスというトリックめいた改定になりそうです。

尽きることがない課題は今の世の中を航海していく上では避けられないことなのでしょう。何だか北風ばかり吹いているような気もしますが、課題があるということは当面やるべきことがあるとも言えるので、まずは取りこぼすことなく一つ一つ丁寧に取り組んでいきましょう。

その時、私たちの足元にある大切なことを見落とすことが無いように気を付けたいものです。

農場収穫 ・ 焼き芋

ミサトピア小倉病院では、作業療法の一環として4月から農場で農作業のグループ活動を行っています。実りの秋を迎え、当院の農場でも収穫作業が行われました。

○じゃがいも

じゃがいもの収穫は、8月の3日～5日に、各病棟ごとに行いました。じゃがいもの葉や茎を抜きながら、数個のじゃがいもを見つけると、土を奥まで深く掘って収穫し忘れがないように懸命に探しました。収穫したじゃがいもは、2-3病棟と1-3病棟の調理の活動で使用し、ポテトサラダやお味噌汁の具材に使われました。

○ポップコーン

ポップコーンは当院では初めての栽培だったため、2種類の方法で収穫をしてみました。畝の半分は8月末に収穫し、外皮をむいて乾燥させました。残りの半分は、ポップコーンがなったまま畑で自然乾燥させ、茎や葉・外皮が枯れたところで収穫しました。

○さつまいも

さつまいもの収穫は、10月7日に4病棟合同で行われました。大きなさつまいもを掘り当てた患者さんは、真剣な表情で掘り進めていき、最後まできれいに掘れると大きく息を吐いて「採れた」と笑顔を浮かべていました。収穫したさつまいもを見て、「これまた焼くのかい？」と聞いてくる患者さんもいて、焼き芋を楽しみにしている様子でした。



焼き芋レク

2-2病棟では、平成27年11月4日（水）、農場で採れたさつまいもを使って焼き芋のレクリエーションを行いました。

午前中から焼き芋（火おこし）のグループと芋巾着を作るグループに分かれ準備を開始しました。

焼き芋のグループは、初めスタッフが火おこしをはじめ、少し火がおこったところで独歩可能な患者さんを屋外へお連れし、焼き芋を作る過程を体験して頂きました。



芋巾着のグループは、数名の女性患者さんが参加して院内の喫茶室で一緒に作りました。

午後は、作った芋巾着と焼き芋を全員でおいしく食べました。ほとんどの患者さんが、おかわりをして食べるほど好評で、中にはおかわりを3、4回もする方もいました。

季節を味わうことができ、患者さんにも喜んでいただけたので、来年も行っていく予定です。

2-3病棟 ミニ運動会

2-3病棟では、平成27年10月26日（月）にスポーツの秋ということでミニ運動会のレクリエーションを院内の体育館において行いました。競技種目は、玉入れ・風船送り・借り物競争・お楽しみゲームの4種目で、紅白に分かれてポイントを競いました。

	①	②	③	④	合計
赤	50	15	10	55	115
白	50	15	95	160	160

紙に書かれたお題を探して持ってくる借り物競争では、チーム対抗戦ということもあり、大いに盛り上がりました。メガネや腕時計など身に着けているものは、チームメンバーに貸して早くゴールし、ポイントを増やします。ゴールすると拍手で称え、チームワークの良さが目立ちました。

お楽しみゲームでは、吊るされたポイント入りの袋を、手を使わず口でくわえて取り、チームのポイントを加算します。揺れている袋を口で取るのは難しく、手こずっている患者さんもいました。勝敗は、赤白接戦で、『155対160』で白組の勝利に終わりました。

運動会の終了後の午後のおやつには、午前中に患者さんと一緒に作った桃入りの青りんごゼリーを食べ、ミニ運動会を締めくくりました。



フラダンス

1-1病棟では、今年も患者さんのご家族様の紹介により、フラダンス鑑賞会を開催することができました。

平成27年11月4日に、フラダンスグループ【ティアレ】から5名のメンバーが来院され、「花は咲く」の他4曲とアンコール2曲の計7曲を踊っていただきました。2度の衣装チェンジと、曲と曲の合間にクイズが盛り込まれており、充実した時間となりました。



華麗なフラダンスショーを鑑賞した男性患者さんは満面の笑みを浮かべて鑑賞されていました。また、立ち上がり一緒に踊り出す患者さんもいました。

女性患者さんは踊りを見て、手の動きを真似てみたり拍手したりと多くの笑顔がみられました。「綺麗だね」「いいね」「もっと見たい」「また来てほしい」などの感想が聞かれました。



ソフトボール大会を行いました！

平成27年10月2・6・7日の3日間、当院の職員レクレーションの一環でソフトボール大会を計画しました。職員だけでは、2チームが作れなかったことから、城西病院と豊科病院に協力してもらい、3病院の総当たり戦となりました。こうなると必然的に対抗心が沸々とわき上がり「負けたくない」と個々に意気込み、良い緊張感の中試合に挑むことになりました。

我がミサトピア小倉病院チームは、参加者が10名でしたので少数ではあるもののチームワーク重視で試合に挑みました。

初戦は、10月2日（金）小倉病院×豊科病院でした。予想通りの乱打戦となりましたが、22病棟大久保さんの満塁ホームランが決勝打となり20対13で勝利しました。

大会2日目、6日（火）小倉病院×城西病院。試合序盤は、ピッチャー23病棟丸山（美）さんが城西病院打線を0点で抑える好投でした。

前半、臨床心理部中山さんのスリーランホームラン等で大差をつける中、後半城西病院が着々と得点を重ねていきましたが、13対8で勝利を収めました。



大会3日目、7日（水）は、城西病院×豊科病院の試合、2対12で豊科病院が勝利しました。

この結果、ミサトピア小倉病院チームは2勝で見事に優勝を果たしました。終了後は、城西・豊科病院の職員からも「また試合しましょう！」と声をかけて頂き、とても充実したレクレーションとなりました。機会があれば、第2回を催したいと思いますが、その時ももちろん優勝を狙います。

病院の理念

慢性期の患者さま一人一人の病状・置かれている状況を個別的に考え人格を尊重し、全職員が職種を超えてチームを組んで一体的に治療目標が達成できるように最良のサービスを提供する。

病院の基本方針

1. 地域への貢献
2. 医療安全・サービスの質の向上
3. 職場の環境づくり
4. 地域連携
5. 経営の健全化

精神科療養病棟150床・老人性認知症疾患療養病棟50床

患者さまの権利

患者さまは、人間として尊重され差別されことなく、公平で良質な医療を受ける権利があります。そのため私達は治療を始める際には、診療についての情報をご本人に説明しご理解いただいた上で患者さまのプライバシーを守り、意思を尊重し継続性のある医療を提供します。

〒399-8103
長野県安曇野市三郷小倉6086-2
TEL 0263-76-5500(代) FAX 0263-76-5501

社会医療法人 城西医療財団

ミサトピア小倉病院

編集後記

今年の冬は、雪が少なく雪かきの心配のない生活をしていますが、雪を必要とするスキー場は、大変な状況だと思います。

毎年、年賀状を早く仕上げようと思いつつ、まだ出きていない焦りの中、早く仕上げて楽になりたいと思います。年末の忙しさもあと少しだと思い、来年も元気で走り続けられる年になって欲しいと願うばかりです。

樋口 孝